



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月14日

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所 東
 コード番号 2708 URL http://www.kuze.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 健吉
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)後藤 明彦 (TEL)03(3987)0018
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	46,746	△10.3	494	93.8	574	47.7	405	24.3
28年3月期第3四半期	52,123	0.1	255	—	389	—	325	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 368百万円(15.5%) 28年3月期第3四半期 319百万円(493.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	106 39	—
28年3月期第3四半期	84 03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	22,502	5,237	23.3
28年3月期	18,867	4,914	26.0

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 5,237百万円 28年3月期 4,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0 00	—	12 00	12 00
29年3月期	—	0 00	—		
29年3月期(予想)				12 00	12 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	63,000	△6.2	485	10.4	530	△10.7	380	△21.8
								98 14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	3,882,500株	28年3月期	3,882,500株
29年3月期3Q	75,173株	28年3月期	75,173株
29年3月期3Q	3,807,327株	28年3月期3Q	3,878,949株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の景気対策などもあり緩やかな景気回復基調で推移したものの、個人消費におきましては依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場におきましても、全般的には消費者の節約志向は続いており、一部特色のある飲食店による伸びはあったものの、インバウンド需要にも頭打ち感が見えはじめ、市場の環境は厳しい状況となっております。

このような状況のもと、安定的な収益基盤の構築を最優先課題とし、中期経営計画「第3次C&G中期経営計画」(平成27年4月～平成30年3月)の2年目として、新規得意先の開拓及び既存得意先との関係強化、提案営業を重視した営業体制の一層の整備と推進、徹底した物流業務の効率化による物流費の削減、物流システムの導入をはじめとする業務の見直しによる品質向上を進め、引き続き事業ミッションに「頼れる食のパートナー」を掲げ、「お客様満足度No.1」の具体化に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は467億46百万円(前年同期比10.3%減)、営業利益は4億94百万円(前年同期比93.8%増)、経常利益は5億74百万円(前年同期比47.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億5百万円(前年同期比24.3%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、新規得意先の開拓による営業基盤の拡大と既存得意先との取引深耕に努めるとともに、効率性を意識した営業を推進し、品質面や価格面で競争力のある商品の提案営業を行ってまいりました。更に経営課題である物流改善については、配送コースの組み換えによる配送効率の改善などの課題に対応し、全般的な効率化に取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は432億38百万円(前年同期比11.2%減)、セグメント利益(営業利益)は6億81百万円(前年同期比54.0%増)となりました。

(食材製造事業)

当セグメントにおきましては、引き続き自社ブランド商品の販売強化と、生産性の向上による効率化を鋭意進めてまいりました。

このような結果、売上高は35億18百万円(前年同期比3.1%増)、セグメント利益(営業利益)は4億67百万円(前年同期比28.8%増)となりました。

(不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は1億9百万円(前年同期比0.7%増)、セグメント利益(営業利益)は84百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ36億34百万円増加し、225億2百万円となりました。これは主として現金及び預金が11億18百万円、受取手形及び売掛金が14億29百万円、商品及び製品が9億59百万円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ33億11百万円増加し、172億64百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が37億59百万円、未払金が2億85百万円増加、1年以内返済予定の長期借入金金が2億40百万円、長期借入金金が4億30百万円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ3億23百万円増加し、52億37百万円となりました。これは主として利益剰余金が3億59百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の26.0%から23.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点での連結業績予想につきましては、平成28年5月10日に公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物付属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,438	5,557
受取手形及び売掛金	6,612	8,042
商品及び製品	2,045	3,004
原材料及び貯蔵品	219	218
その他	718	706
貸倒引当金	△41	△49
流動資産合計	13,992	17,480
固定資産		
有形固定資産	2,225	2,239
無形固定資産	135	163
投資その他の資産		
その他	2,574	2,726
貸倒引当金	△59	△107
投資その他の資産合計	2,514	2,619
固定資産合計	4,875	5,022
資産合計	18,867	22,502
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,900	12,660
短期借入金	180	180
1年内返済予定の長期借入金	1,137	896
未払金	802	1,088
未払法人税等	72	112
賞与引当金	233	134
その他	401	435
流動負債合計	11,728	15,508
固定負債		
長期借入金	1,467	1,036
役員退職慰労引当金	167	168
退職給付に係る負債	190	199
資産除去債務	72	80
その他	327	270
固定負債合計	2,225	1,755
負債合計	13,953	17,264

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	302	302
資本剰余金	291	291
利益剰余金	3,806	4,166
自己株式	△55	△55
株主資本合計	4,345	4,704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	510	499
繰延ヘッジ損益	—	4
為替換算調整勘定	70	43
退職給付に係る調整累計額	△11	△14
その他の包括利益累計額合計	569	533
純資産合計	4,914	5,237
負債純資産合計	18,867	22,502

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	52,123	46,746
売上原価	43,129	37,765
売上総利益	8,994	8,980
販売費及び一般管理費	8,738	8,486
営業利益	255	494
営業外収益		
受取事務手数料	61	47
物流業務受託収入	29	28
保険解約益	60	—
その他	71	74
営業外収益合計	223	151
営業外費用		
物流業務受託収入原価	44	41
その他	44	29
営業外費用合計	89	71
経常利益	389	574
特別利益		
投資有価証券売却益	60	4
特別利益合計	60	4
特別損失		
固定資産除却損	0	2
減損損失	4	—
特別損失合計	4	2
税金等調整前四半期純利益	445	577
法人税、住民税及び事業税	51	144
法人税等調整額	67	27
法人税等合計	119	171
四半期純利益	325	405
親会社株主に帰属する四半期純利益	325	405

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	325	405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37	△10
繰延ヘッジ損益	—	4
為替換算調整勘定	△45	△27
退職給付に係る調整額	1	△2
その他の包括利益合計	△6	△36
四半期包括利益	319	368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319	368
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	48,701	3,413	8	52,123
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	—	100	117
計	48,718	3,413	109	52,240
セグメント利益	442	363	85	890

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び

当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	890
セグメント間取引消去	6
全社費用(注)	△642
四半期連結損益計算書の営業利益	255

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	43,219	3,518	9	46,746
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	—	100	120
計	43,238	3,518	109	46,866
セグメント利益	681	467	84	1,233

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び
当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,233
セグメント間取引消去	8
全社費用(注)	△747
四半期連結損益計算書の営業利益	494

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。